

年度シートその2 - (2)

安芸	重点2
----	-----

普及事項	2 ユズ産地を維持するための仕組みづくり	評価指標	現状	目標	2 ユズ産地を維持するための仕組みづくり	評価指標	現状	目標
	(1) 担い手への園地集積等に向けた取り組み支援	園地流動化モデルの検討	検討なし	流動化モデルを検討	(2) 生産力を維持するための仕組みづくり	産地維持のための方向性の決定	方向性なし	方向性の決定
	対象 J A高知県安芸地区柚子部(東川支部145戸)				対象 J A馬路村柚子部(190戸)			
担当	伊豆、猪野				伊豆、西			
時期	計画				計画			
第1 四半期	4 月 6 月	【2(1)】 ・関係機関と情報共有、年間スケジュールの検討(連絡会等 4月) ・先進産地の状況把握(情報収集 4~6月) ・調査の進捗状況の報告(総会 5月)			【2(2)】 ・関係機関と情報共有、年間スケジュールの検討(連絡会等 4月) ・産地実態の状況把握(分析 4~6月)			
		第2 四半期	7 月 9 月	【2(1)】 ・産地の現状に関する情報提供(役員会 7月、連絡会8月) ・先進産地の状況把握(先進事例調査 9月)			【2(2)】 ・産地の現状に関する情報提供および協議(役員会 7~8月)	
第3 四半期	10 月 12 月			【2(1)】 ・産地の将来に関する協議および方向性の検討(役員会 10月、連絡会 10~12月)			【2(2)】 ・産地の方向性に関する協議(産地協議会 10月)	
		第4 四半期	1 月 3 月	【2(1)】 ・園地集積等に向けた仕組み作りの検討(役員会 2月、連絡会 1~2月)			【2(2)】 ・今後の取組の検討(役員会 1月) ・関係機関と情報共有(連絡会 2月)	